

大規模災害協定に基づく連絡会（大島ブロック）議事録

場所 : 大島支庁 四階大会議室

期日 : 令和 6 年 5 月 23 日 (木) 10:00～10:40

参加者 : 大島支庁建設部 瀬戸口淳一 建設部長
増田 貴文 建設課長
国枝 徹 技術補佐
加治屋勝行 技術補佐兼道路維持係長
米丸 隆徳 道路建設係長
吉永 謙二 技術主幹兼河川港湾第二係長
谷口 徳哉 技術主幹兼技術調整係長
村田 智博 技術専門員
圖師 潤美 土木技師

大島支庁瀬戸内事務所建設課

松里智一郎 建設課長

大島支庁喜界事務所建設課

瀬戸山智幸 建設係長

大島支庁徳之島事務所建設課

妙見 崇 建設課長

弓場 学 道路係長

大島支庁沖永良部事務所建設課

倉園 久司 建設課長

川路 孝樹 技術主幹兼道路河川係長

測量設計業協会

安永 幸信 会長

福留 勝 理事

連絡責任者（正）(株)久永コンサルタント 岩木 哲平

連絡責任者（副）(株)国土技術コンサルタント 安永 信一郎

会議資料

大島支庁より

1. 名簿
2. 令和 6 年度の連絡体制（大島支庁）
3. 大島支庁管内の公共土木施設等の状況
4. 災害協力の支援フロー・協定書写し・実施要領・留意事項・各文書様式
5. 令和 5 年 6 月豪雨に伴う公共施設災害支援協力

測量設計業協会より

1. 大規模災害時における被害状況調査の支援協力に関する協定（経緯）
2. 災害支援協力のフロー図
3. 令和 6 年度の大島ブロック連絡体制（鹿児島県測量設計業協会）

議事録

1.開会挨拶

瀬戸口淳一 大島支庁建設部長 挨拶

安永幸信 測量設計業協会会長 挨拶

2.資料の説明について

2.1 大島支庁資料（大島支庁）

- ・各資料の説明をいただく。
- ・災害支援協力のフロー説明
調査実施にあたっては調査を行う業者と県担当職員でやりとりをすることになる。情報共有、連絡、報告を十分行いながら進めていただきたい。
- ・早急な被害状況把握が求められますが、事故やケガの無いように調査していただきたい。

2.2 協会資料（測量設計業協会）

- ・資料の説明

3.質疑応答

【支庁より】

- ・令和5年度の瀬戸内事務所での災害対応は、どのような初動だったのか。
- ・詳しい災害個所などの情報は資料に掲載されていたのか。

【測量協会より】

- ・初動では、連絡を受けた当日に瀬戸内事務所へ行き、打ち合わせすることができた。資料等が準備されてあったのでスムーズに協会から参加企業各社へ資料の送信ができ、現場作業へ移行できた。
- ・災害個所に関しては、概ね被災箇所を記入した管内図を頂戴できた。管内図を基に参加企業各社に担当の割り振りを行った。
- ・協会では、大島ブロックの応援支援協力業者の全社へ協力の依頼を連絡し、20社ほど参加してもらった。
- ・現地調査の範囲は、瀬戸内事務所であらかじめ割り振ってもらっていたので、現地へはスムーズに対応することが出来た。
- ・瀬戸内事務所からは災害復旧業務への契約企業数を少なくしたいとの要望があったが、被害状況調査に協力させていただいた企業に対する実績等を鑑みて頂き、受注希望する企業へ可能な限り契約できるようご理解をお願いします。

【支庁より】

- ・災害の被害状況調査をお願いする場合は、どのように行った方が良いのか
管内の全路線で調査をお願いした方が良いのか箇所をお願いした方が良いのか

【測量協会より】

- ・ケースバイケースではあるが、河川だと1河川毎、道路・砂防では建設業協会からある程度の情報提供があるので箇所をお願いされる事例が多い。
- ・調査してから追加で増えた場合は、受けた会社で行うか、追加で対応できる会社にお問い合わせするかはその時の状況で判断していることもある。

